

まごひち瓦版

ライフスタイルに関する情報をもっと知りたい
貴方にお届けする地元企業発行のかわら版です

ひなまつり

特にお出掛けをすることもなく家にこもりがちに過ごすことの多いコロナ下ですが、季節は着実に移ろい、本州中部に位置する奈良県では凍える冬はそろそろ終わり、花が咲き乱れる春の気配が感じられるようになってきました。

ニユースを見てみると、春らしい花の開花情報や桜の開花予報、さらには歓迎しにくい杉花粉の予測も多くなってきましたね。

さて春の花「桃」というと、お雛様飾りをどうするかで悩む季節でもあります。人の多い場所に出かけて望まないウイルスをもらって隔離生活をするよりは、子供も交えて雛飾りを飾り、雅なひと時を過ごすのも良いのではないかと思えます。今回は、お雛様についての雑学をご紹介します。

雛人形は女の子の健やかな成長と健康を願って飾られます。地方により時期に若干の違いはありますが、三月三日の「桃の節句」に祝われることが一般的です。



地方によっては現在も流し雛という行事があり、「人形・ひとがた」もしくは「形代・かたしろ」と呼ばれる、草木や紙で人型に作った人形に自分のけがれを移し、水に流すことで厄をはらい幸せを願います。この人形もしくは形代が、ひな人形のルーツと言われています。子供の死亡率が高かった時代、人形にけがれを移し健やかな成長を願って水に流したのです。

また昔、公家の家庭には「ひいな遊び」という女の子の人形を使ったおままごと遊びがあり、江戸時代になると、ひいな人形は公家から武家に嫁ぐ際の嫁入り道具として武家に持ち込まれ、裕福な商家などを経て一般にも広がっていったそうです。文化の成熟期である8代将軍の治世には人形は大型化すると同時に絢爛豪華になり、けがれを移して流される存在から、飾ることでも厄を払う形へと変化してきたそうです。

お人形を飾り付けるときに迷うのが、お内裏様とお雛様の位置関係。お雛様を左右どちらに飾るか、悩みませんか？

あるいは、出先で見かける雛飾りに違和感を覚えることは有りませんか？違和感の一つの理由は、飾り位置が異なるからではないでしょうか。そして、お顔立ちや素材感など。

一般的な違いは
京雛 左側(向かって右)に男雛、右側に女雛

京都御所の紫宸殿での御即位の式典に由来し、太陽が先に当たる側が上の位、「左をもつて尊し」という古来の風習により、お顔立ち・目が細めで切れ長、おっとりしたお公家様風の目鼻立ち。

関東雛 右側(向かって左)に男雛、左側に女雛

関東雛は現代の国際基準に合わせて「右上位」の座り方です。右上位が浸透したのは、大正時代以降だとかお顔立ち・細面ではっきりめの目鼻立ち。

平成になってからは、はっきりした違いのない、中間的なお人形の顔立ちになってきたそうです。古い時代の雛人形と見比べると違いがよくわかるでしょうね。



平成になって筆者の家にやってきた雛段飾りの三人官女様ですが、飾りつけの説明書きは、京雛飾りで、左側に男雛。お顔立ちも確かに中間的かもしれませぬ。

飾る時期

立春(節分の翌日2月4日ごろ)から2月中旬にかけてが良いと言われていました。

節分で豆まきをしたあとに飾る流れです。遅くとも桃の節句の一週間前までには飾りましょう。あわてて前日の3月2日に飾るのは「一夜飾り」といって縁起が良くないので、避けるのが良いそうです。地方やご家庭によっては二十四節気のひとつ、雨水(うすい)に飾ると良いといわれるようです。雨水は、温かさに雪や氷が溶け雨水として降り注ぐ日で、毎年2月18日か19日にあたります。

雨水の日におひな様を飾る事は、良縁につながるという逸話もあるのだそうです。この社外報がお手元に届く頃にはすでに桃の節句を祝っておられるのではないかと非常に慌てております。

片付ける時期

「雛人形をしまうのが遅れると期が遅れる」よく聞く議論ではありますが、立証した学者はいないと断言できず、片付けがちゃんとできないようでは、きちんとした女性になれず、お嫁さんにもなれませぬよ」と、躰の意味を込めての言い伝え的なもののようにですという記述があり、私はそれが最もしっくりきました。

人形に使用している生地は湿気に弱く、湿度が高い日が敵である事から、お人形にとって負担の少ないよく晴れた湿気のない日、雛祭りから約2週間を目安に、新暦の3月中旬頃までにしまうのが良いようです。乾燥剤や人形用の防虫剤と一緒にしまうのも良いと思います。

雛人形って1女1飾り？

本来お祓い目的の人形(ひとがた)であったものから、飾って厄を払い、健やかな成長と良縁を願うお守りの存在になってきたのが現在の雛飾りです。本来お守りは継承するものではありません。